

長谷川家は、三井家・小津家・  
長井家等とともに松阪を代表する江戸店持  
ちの豪商です。

創業の祖3代政幸が、延宝3年（1675）に江戸大伝  
馬町で木綿仲買商「丹波屋」を創業、その後、新店（源右  
衛門店）、亀屋（武右衛門店）、戎屋（六郎次店）と経営を拡大、  
6代邦淑が向店（次郎吉店）を開業するに至り、5店体制とな  
ります。

その長谷川家には、松阪に広大な屋敷地とともに、近世から  
現代に渡る質・量とも圧倒的な商業文書、書籍、生活用具な  
どの歴史資料が残され、平成20年度から10か年をかけて、  
61,608点に上る資料が調査されました。

今回、4月からの「旧長谷川治郎兵衛家」の  
一般公開を記念して、長谷川家いちおし  
の資料を展示いたします。



大福帳



菓子鉢



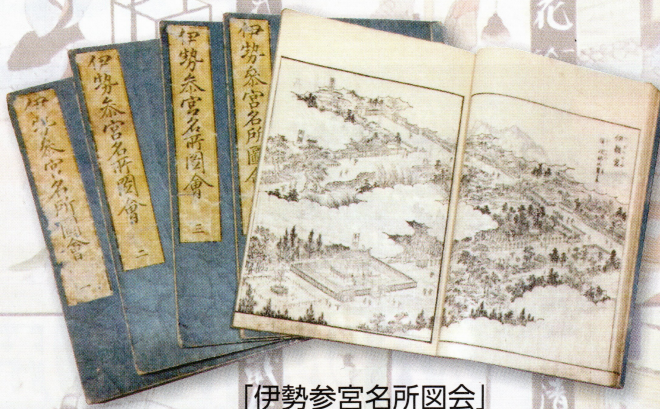
笠・柄杓



歌川国芳  
「名高百勇傳」より坂田金時



松阪の地図が彫られた  
板木煙草盆



「伊勢参宮名所図会」